

## 万代高校 保護者様講演会

---

# 本日の講演テーマ

- ①昨年度受験動向
- ②大学入試制度概要
- ③家庭学習のポイント
- ④保護者としての心構え

## 2021年度入試の特徴～大学入試は様変わり

### ● 人口減による競争緩和

大学志願者数（頭数）の減少

- ・ 国公立大－倍率ダウン
- ・ 私立大－志願者大幅減、合格者増

### ● 共通テストは平均点上昇

国公立大では難関大・医学科で強気の出願

### ● 入試改革実施大の動向

大掛かりな入試改革を実施した都市部の私立大では、志願者敬遠の動き鮮明

### ● コロナ禍の影響

- ・ 地元志向、資格系統（医療、教育、福祉）の人気上昇
- ・ 私立大の出願校数を抑える動き
- ・ 多くの大学では感染防止対策の上入試を実施、2次試験取りやめ大では志願動向に変化

### 背景となった環境

#### 受験人口の減少



- ・ 大学志願者数 約4%減
- 18歳人口2%減
- 既卒生約2割減

#### 新入試への移行



- ・ センター試験から共通テストへ
- ・ 一部大学での大掛かりな入試改革

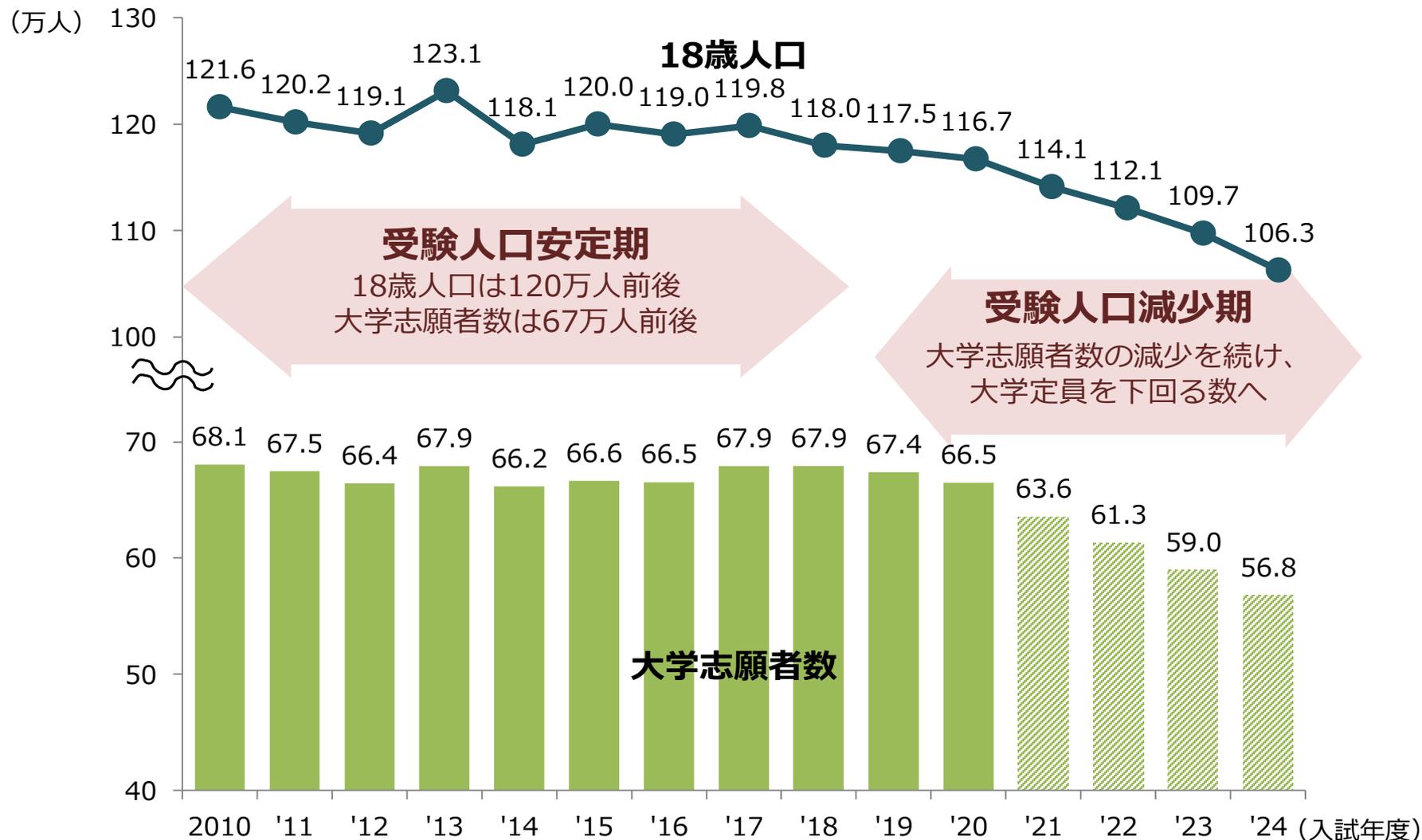
#### コロナ禍の入試



- ・ 景気や就職環境の変化
- ・ 感染リスク回避の動き

## 受験人口は本格的な減少期に突入

### ● 18歳人口・大学志願者数の推移



※学校基本調査より、2021年度以降の大学志願者数は河合塾推定

## センター試験から共通テストへ

### ● 共通テスト 出題トピック

- ・ 知識や解法の暗記のみで解答できる問題は減少。より理解の質が問われ「思考力」「判断力」を発揮して解くことが求められる問題が重視された。
- ・ 授業における学習場面、日常生活の中から課題を発見・解決方法を構想する場面、資料やデータをもとに考察する場面など、学習過程を意識した出題設定が多かった。
- ・ 解答マーク数が減少した科目が多かった一方、全科目でグラフ、地図、写真、文章など読み取る資料の増加とともに会話文を導入したため、全体に問題量が増加。とくに英語、数学Ⅰ・数学A、公民の各科目などで増加が目立った。

### (参考) 問題冊子のページ数の変化

	英R	英L	国語	世B	日B	地理B	現社	倫理	政経	倫政
20年度	26	10	41	24	32	34	30	34	29	32
21年度	32	20	39	30	31	34	35	35	34	39
差	+6	+10	-2	+6	-1	±0	+5	+1	+5	+7

	数ⅠA	数ⅡB	物基	化基	生基	地基	物	化	生	地学
20年度	18	14	13	12	16	18	22	29	34	28
21年度	26	18	15	12	20	15	24	23	31	30
差	+8	+4	+2	±0	+4	-3	+2	-6	-3	+2

必要な情報を時間内に整理・考察する力が求められるとともに、正しく理解していないと正解が難しい解答方法に対応できる深い学習が必要

# 共通テストの概況

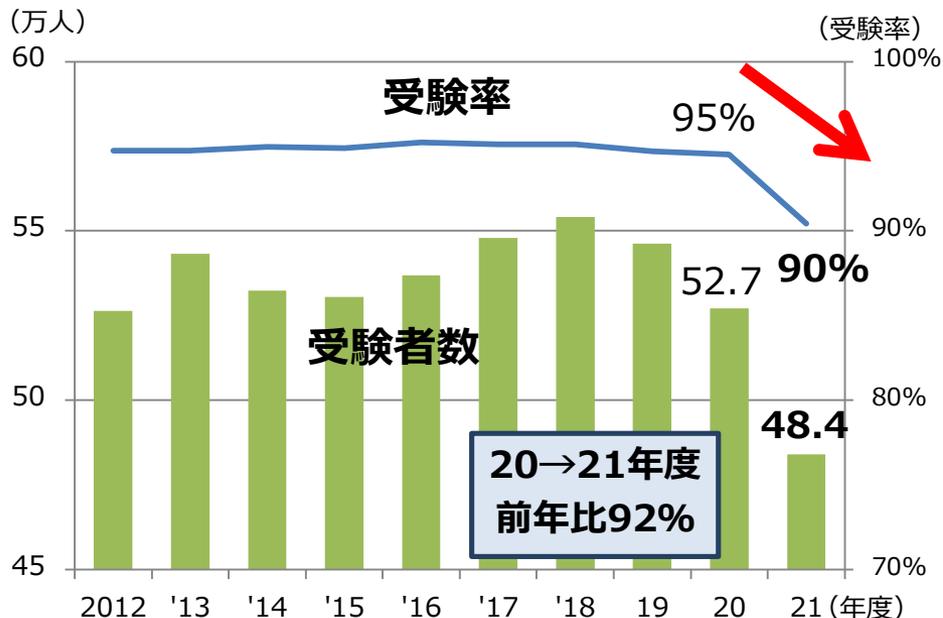
既卒は  
2割減

## ● 志願者数

		2020	2021	前年比
志願者数		557,699	535,245	96%
現 卒 別	現役	452,235	449,795	99%
	既卒	100,376	81,007	81%
	高卒認定等	5,088	4,443	87%
日 程	第1日程		534,527	-
	第2日程		718	-

※大学入試センター資料より

## (参考) センター試験・共通テスト 受験者数の推移



20→21年度  
前年比92%

※大学入試センター資料より、受験率は受験者÷志願者

## ● 平均点 (本試験 第1日程)

教科・科目		2020	2021	前年差	
英 語	リーディング	58.2	58.8	+0.6	
	リスニング	57.6	56.2	-1.4	
数 学	数学Ⅰ・数学A	51.9	57.7	+5.8	
	数学Ⅱ・数学B	49.0	59.9	+10.9	
国語		119.3	117.5	-1.8	
理 科	①	物理基礎	33.3	37.6	+4.3
		化学基礎	28.2	24.7	-3.6
		生物基礎	32.1	29.2	-2.9
		地学基礎	27.0	33.5	+6.5
	②	物理	60.7	62.4	+1.7
		化学	54.8	57.6	+2.8
		生物	57.6	72.6	+15.1
		地学	39.5	46.7	+7.1
地 歴 ・ 公 民	世界史B	63.0	63.5	+0.5	
	日本史B	65.5	64.3	-1.2	
	地理B	66.4	60.1	-6.3	
	倫理,政治・経済	66.5	69.3	+2.8	
現代社会		57.3	58.4	+1.1	
総 合 型	7科目文系型	547	555	+8	
	7科目理系型	552	571	+19	

※科目別平均点は大学入試センター資料より、総合型平均点は河合塾推定  
 昨年の数値はセンター試験のもので、英語の平均点は筆記・リスニング  
 とともに100点満点に換算して算出

※7科目文系型：英・数(2)・国・理(1)・地公(2) (900点満点)  
 7科目理系型：英・数(2)・国・理(2)・地公(1) (900点満点)  
 \*理科の基礎を付した科目は2科目で1科目とする

平均点は  
アップ

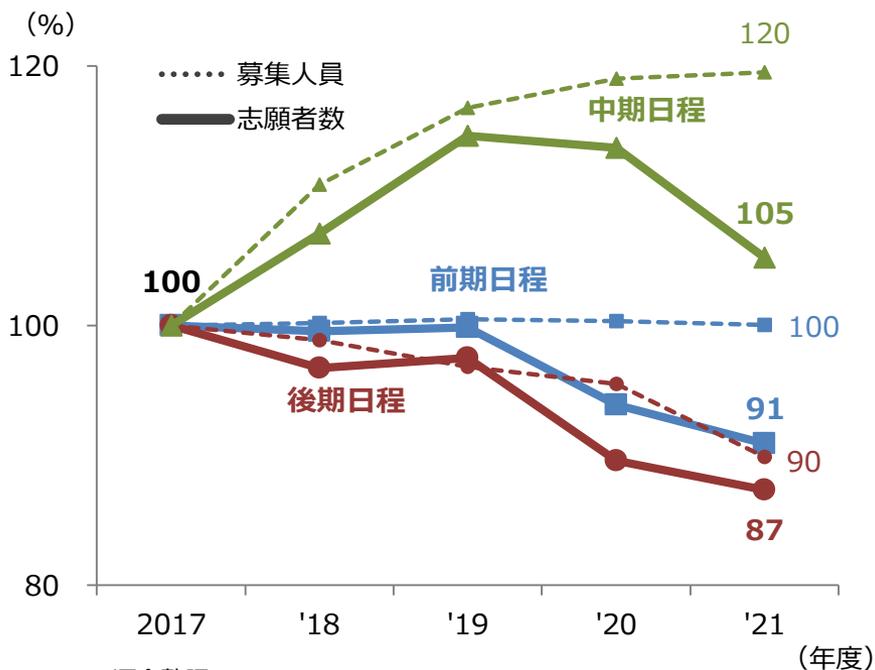
# 国公立大の全体概況 - 人口減により競争緩和

## ● 日程別

日程	志願者数		合格者数		倍率 (志/合)	
	2021	前年比	2021	前年比	'20	'21
前期	235,408	97%	91,032	100%	2.7	2.6
後期	160,920	97%	22,224	97%	7.2	7.2
中期	29,090	93%	5,081	107%	6.6	5.7

※河合塾調べ

### (参考) 国公立大 募集人員・志願者数の推移



※河合塾調べ

※2017年度入試の国公立大の募集人員・志願者数を100とした場合の変化

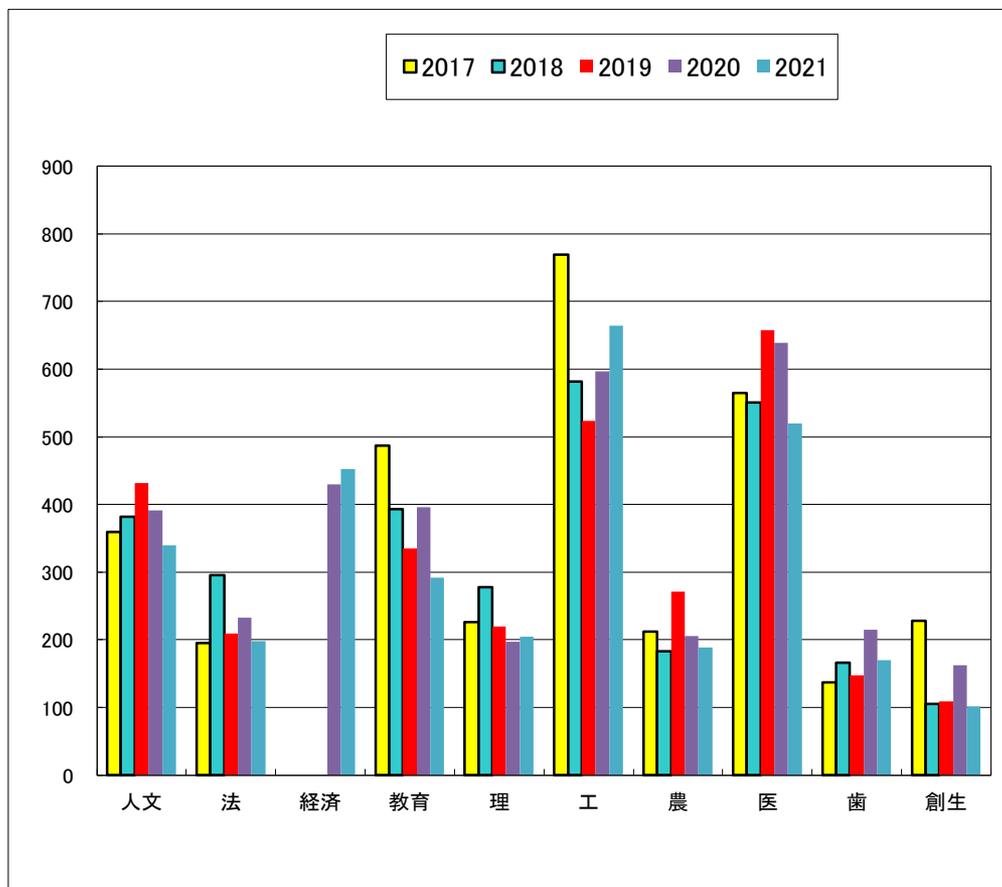
## ● 地区別 (前期日程)

地区	志願者数		合格者数		倍率 (志/合)	
	2021	前年比	2021	前年比	'20	'21
北海道	11,552	92%	5,044	97%	2.4	2.3
東北	18,381	95%	7,440	99%	2.6	2.5
関東・甲信越	22,886	90%	9,801	99%	2.6	2.3
首都圏	46,739	96%	15,155	101%	3.2	3.1
北陸	10,873	106%	4,410	109%	2.5	2.5
東海	21,466	102%	7,904	101%	2.7	2.7
近畿	39,520	100%	14,986	100%	2.6	2.6
中国	22,142	97%	8,972	99%	2.5	2.5
四国	10,373	94%	4,241	100%	2.6	2.4
九州	31,476	98%	13,079	100%	2.5	2.4

※河合塾調べ

- 前期日程の志願者は前年比97%と減少したが、受験人口減を加味すると国公立大人気は堅調といえる。とはいえ、前・後期日程では志願者はこの**2年で約1割減**となった。
- 地区別では、志願者は**東日本**で減少率が高い。
- 志願者減により**競争緩和がすすみ**、倍率(志/合) 1.5倍を下回った募集区分は増加傾向。

## 【新潟大】全体動向(前期)



学部	志願者数					前年比			
	2017	2018	2019	2020	2021	18/17	19/18	20/19	21/20
人文	359	382	432	391	340	106%	113%	91%	87%
法	195	296	209	233	198	152%	71%	111%	85%
経済科学	-	-	-	430	452	-	-	-	105%
教育	487	393	335	396	292	81%	85%	118%	74%
理	226	278	220	197	205	123%	79%	90%	104%
工	769	582	524	597	664	76%	90%	114%	111%
農	212	183	271	206	189	86%	148%	76%	92%
医	565	551	658	639	520	98%	119%	97%	81%
歯	137	166	147	215	170	121%	89%	146%	79%
創生	228	105	109	162	101	-	-	-	62%
合計	3663	3688	3484	3466	3131	101%	94%	99%	90%

ほとんどの学部で志願者が前年より減少。大学全体では前年比90%という結果に。

教育、歯学、創生学部では20%以上志願者が減少。浪人生及び現役受験生が減少し全国的に国公立大学の受験者が減少したが、新潟大でも同様の傾向がみられた。

## 【新潟県出身者】国公立大:志願大学(実人数の多い大学)

2021年度

順位	前期				後期				中期・別日程				学校推薦型・総合型			
	大学名	志願者	合格者	合格率	大学名	志願者	合格者	合格率	大学名	志願者	合格者	合格率	大学名	志願者	合格者	合格率
1	新潟大学	898	407	45.3%	新潟大学	439	53	12.1%	新潟県立大学	702	359	51.1%	新潟大学	422	219	51.9%
2	金沢大学	130	83	63.8%	上越教育大学	92	4	4.3%	三江市立大学	128	37	28.9%	新潟県立大学	118	51	43.2%
3	東北大学	121	64	52.9%	富山大学	90	17	18.9%	高崎経済大学	68	7	10.3%	新潟県立看護大学	54	29	53.7%
4	山形大学	113	50	44.2%	福島大学	73	10	13.7%	長野大学	54	11	20.4%	長岡造形大学	43	16	37.2%
5	富山大学	102	29	28.4%	山形大学	70	11	15.7%	長岡造形大学	44	5	11.4%	上越教育大学	37	14	37.8%
6	千葉大学	78	31	39.7%	茨城大学	59	5	8.5%	都留文科大学	36	5	13.9%	富山大学	23	9	39.1%
7	長岡技術科学大学	65	30	46.2%	秋田大学	56	3	5.4%	長野県立大学	27	10	37.0%	筑波大学	20	11	55.0%
8	福島大学	63	15	23.8%	信州大学	53	11	20.8%	公立小松大学	24	6	25.0%	東北大学	18	8	44.4%
9	高崎経済大学	58	20	34.5%	新潟県立看護大学	53	8	15.1%	公立諏訪東京理科大学	16	3	18.8%	都留文科大学	18	6	33.3%
10	上越教育大学	57	6	10.5%	秋田県立大学	50	11	22.0%	釧路公立大学	8	5	62.5%	信州大学	15	6	40.0%



2020年度

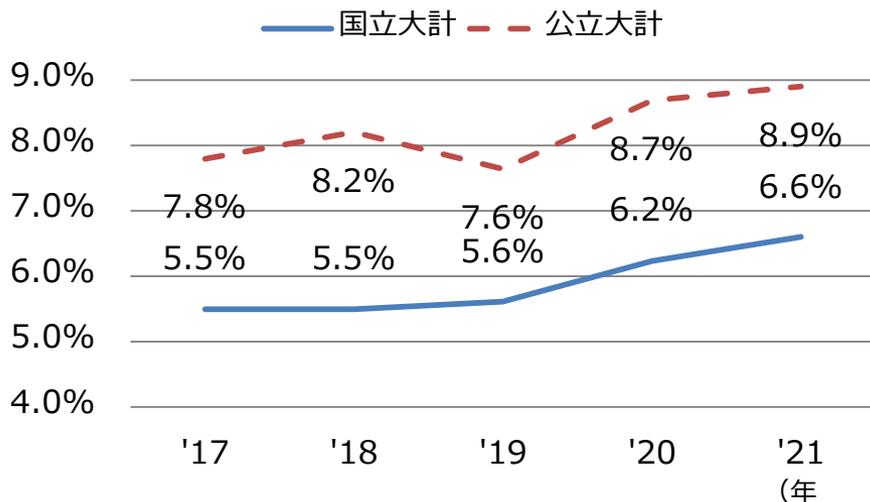
順位	前期				後期				中期・別日程				推薦・AO			
	大学名	志願者	合格者	合格率	大学名	志願者	合格者	合格率	大学名	志願者	合格者	合格率	大学名	志願者	合格者	合格率
1	新潟大学	1011	453	44.8%	新潟大学	752	99	13.2%	新潟県立大学	729	327	44.9%	新潟大学	403	199	49.4%
2	山形大学	126	65	51.6%	富山大学	123	14	11.4%	高崎経済大学	88	13	14.8%	新潟県立大学	85	49	57.6%
3	富山大学	124	39	31.5%	秋田大学	90	13	14.4%	都留文科大学	56	10	17.9%	東北大学	58	17	29.3%
4	東北大学	110	49	44.5%	福島大学	90	11	12.2%	長野大学	51	2	3.9%	長岡造形大学	39	12	30.8%
5	金沢大学	105	64	61.0%	山形大学	81	10	12.3%	長岡造形大学	35	3	8.6%	新潟県立看護大学	38	26	68.4%
6	秋田大学	101	31	30.7%	上越教育大学	72	10	13.9%	公立諏訪東京理科大学	33	5	15.2%	上越教育大学	36	16	44.4%
6	千葉大学	101	40	39.6%	信州大学	62	11	17.7%	公立小松大学	23	5	21.7%	筑波大学	23	10	43.5%
8	筑波大学	78	28	35.9%	秋田県立大学	59	4	6.8%	長野県立大学	16	2	12.5%	富山大学	21	7	33.3%
9	新潟県立看護大学	77	31	40.3%	新潟県立看護大学	56	6	10.7%	釧路公立大学	12	3	25.0%	山形大学	18	2	11.1%
10	高崎経済大学	74	19	25.7%	金沢大学	49	10	20.4%	国際教養大学	12	4	33.3%	千葉大学	18	4	22.2%

■入試結果調査データより

- 前期日程で新潟大の志願者が100名以上減少したが、合格率は前年より増加している
- 中期・別日程では新潟県立大の合格率が前年より増加している

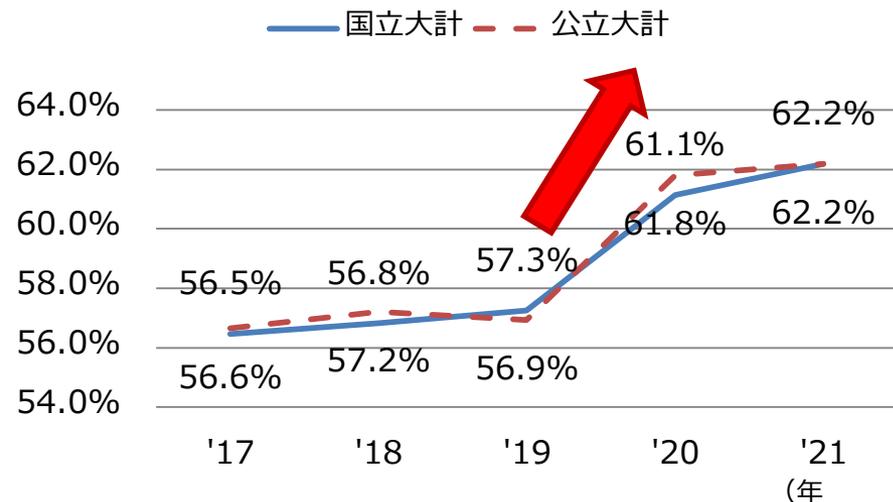
## 国公立大の受験状況－欠席率は上昇傾向

〈図表1〉国公立大 前期日程欠席率推移



※文部科学省資料より

〈図表2〉国公立大 後期日程欠席率推移

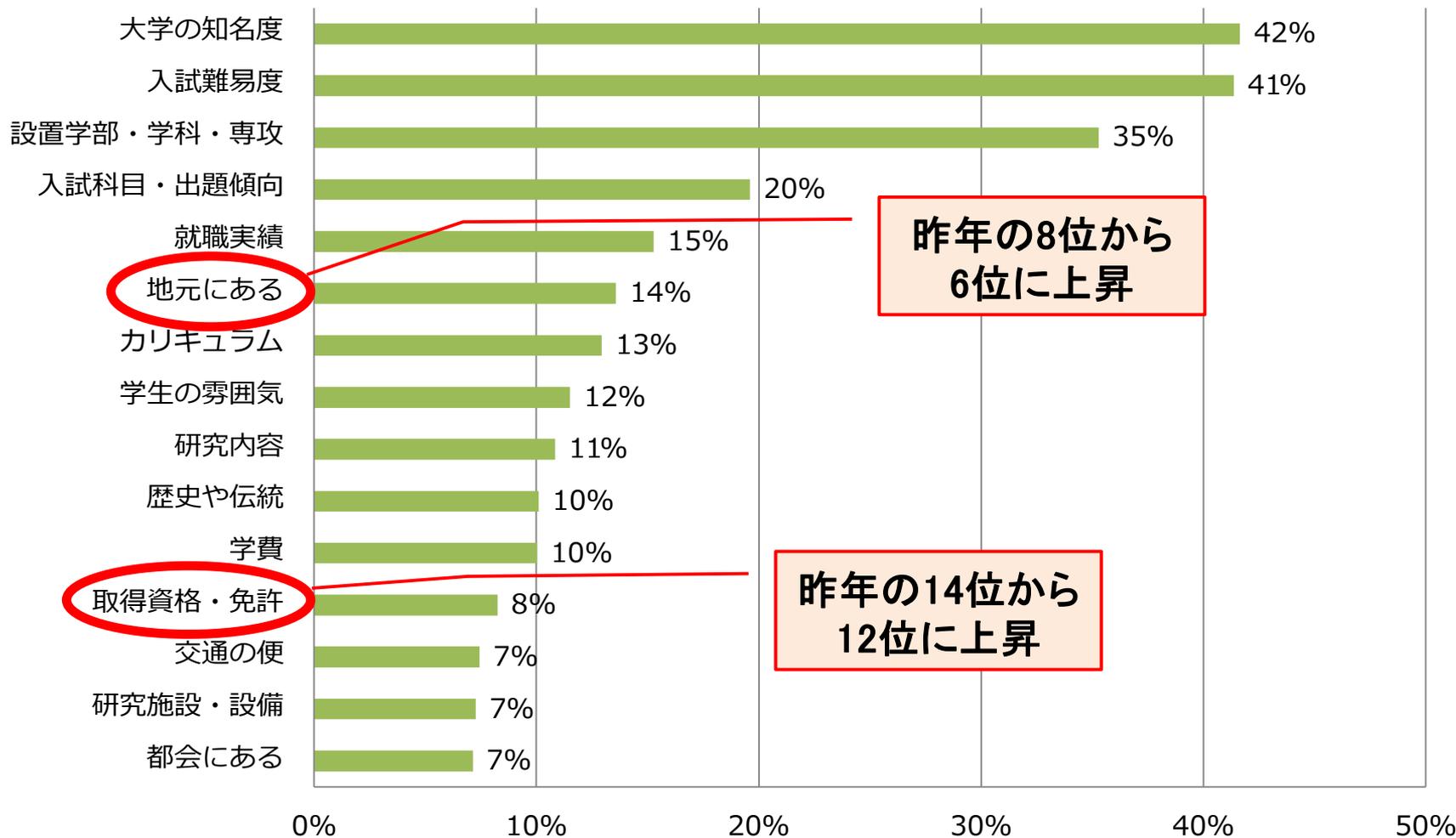


※文部科学省資料より

- 前期日程の欠席率は**7.1%と上昇**した。〈図表1〉は過去5年の前期日程欠席率の推移である。国立、公立大ともに欠席率は近年、上昇傾向にあり、国立大の欠席率は前年から0.4ポイント上昇し6.6%、公立大では0.2ポイント上昇し8.9%となった。
- 前期日程を欠席する背景は、主に二点挙げられる。一点目は、併願した私立大へ合格して受験を取りやめるというケースである。こうした動きは都市部の公立大に多く見られる。例を挙げると、東京都立大や横浜市立大は首都圏の難関私立大との併願者が多く、例年欠席率は1割を超える。二点目は、総合型・学校推薦型選抜に合格したために、併願した前期日程を欠席するというケースである。近年、総合型・学校推薦型選抜に共通テストを課す国公立大が増加している。また、国立大では総合型選抜の新規実施・拡大が進む。共通テストを課す総合型・学校推薦型選抜に出願する受験生は、合格発表日が2月上旬となるため、一旦一般選抜にも出願することになる。とりわけ国立大で欠席率が上昇しているのは総合型選抜の拡大が一因だろう。
- 後期日程の欠席率は**62.2%と上昇**した。〈図表2〉は過去5年の前期日程欠席率の推移である。国立、公立大ともに過去5年で最も高くなった。

## 志望校を決めた理由

### ● 志望校決定に重視した項目は何ですか？



昨年の8位から  
6位に上昇

昨年の14位から  
12位に上昇

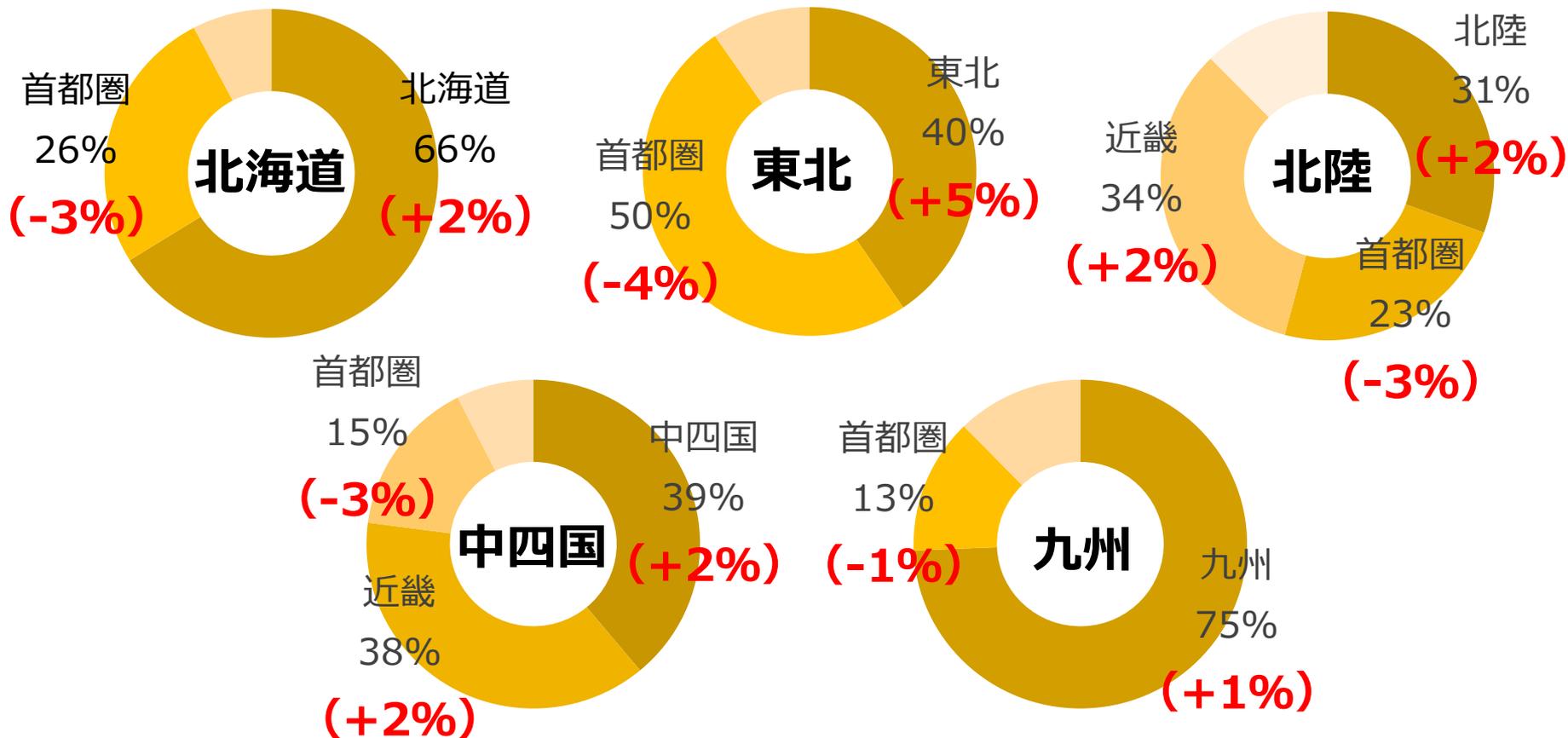
50%  
(選択率)

## 参考：共通テストからみる全統共通テスト模試成績の下限

	共通テスト 自己採点結果	ボーダーラインのめやす (大学)	5月 第1回全統 共通テスト	8月 第2回全統 共通テスト	10月 第3回全統 共通テスト	12月 全統プレ共通テスト
5 1 7 理系	90% ~	東京大・京都大・医学部 医学科	62% ~	66% ~	66% ~	72% ~
	80% ~	東京工業大・東北大・大阪大・名古屋大など	44% ~	50% ~	52% ~	58% ~
	75% ~	北海道大・筑波大・千葉大・東京農工大など	34% ~	42% ~	42% ~	48% ~
	65% ~	埼玉大・群馬大・信州大・電気通信大など	24% ~	34% ~	36% ~	38% ~
5 1 7 文系	90% ~	東京大・京都大	60% ~	62% ~	72% ~	71% ~
	80% ~	一橋大・東北大・大阪大・名古屋大など	40% ~	48% ~	56% ~	56% ~
	75% ~	北海道大・筑波大・横浜国立大など	36% ~	42% ~	50% ~	52% ~
	65% ~	宇都宮大・新潟大・茨城大など	30% ~	32% ~	40% ~	38% ~

➤ 共通テスト本番で9割以上得点した受験生の第2回全統共通テスト模試での下限は約6割です。今回の結果で第1志望を諦める必要は全くありません！

## 参考：コロナ禍の影響－地元志向の強まりと首都圏敬遠



※河合塾入試結果調査データより

※各地区受験生が受験した私立大の所在地占有率、( )内は前年からの変動

各地区の受験生が受験した私立大の所在地区別占有率を前年と比較すると、各地区とも地元大学を受験した割合が上昇した。一方、各地で首都圏の大学の割合がダウン、敬遠された様子が見えたと

# 私立大の全体概況 - 志願者はかつて見られないほどの大幅減

## ● 全体概況

	志願者数			合格者数			倍率 (志/合)	
	2021	前年差	前年比	2021	前年差	前年比	'20	'21
<b>全体</b>	<b>3,208,187</b>	<b>-541,805</b>	<b>86%</b>	<b>1,049,309</b>	<b>+61,385</b>	<b>106%</b>	<b>3.8</b>	<b>3.1</b>
一般方式	2,139,166	-420,523	84%	654,496	+35,532	106%	4.1	3.3
共通テスト方式	1,069,021	-121,282	90%	394,813	+25,853	107%	3.2	2.7
一期	2,971,625	-449,117	87%	970,686	+73,788	108%	3.8	3.1
二期	236,562	-92,688	72%	78,623	-12,403	86%	3.6	3.0

※河合塾調べ (5/21現在、554大学判明分)

## ● 地区別の状況

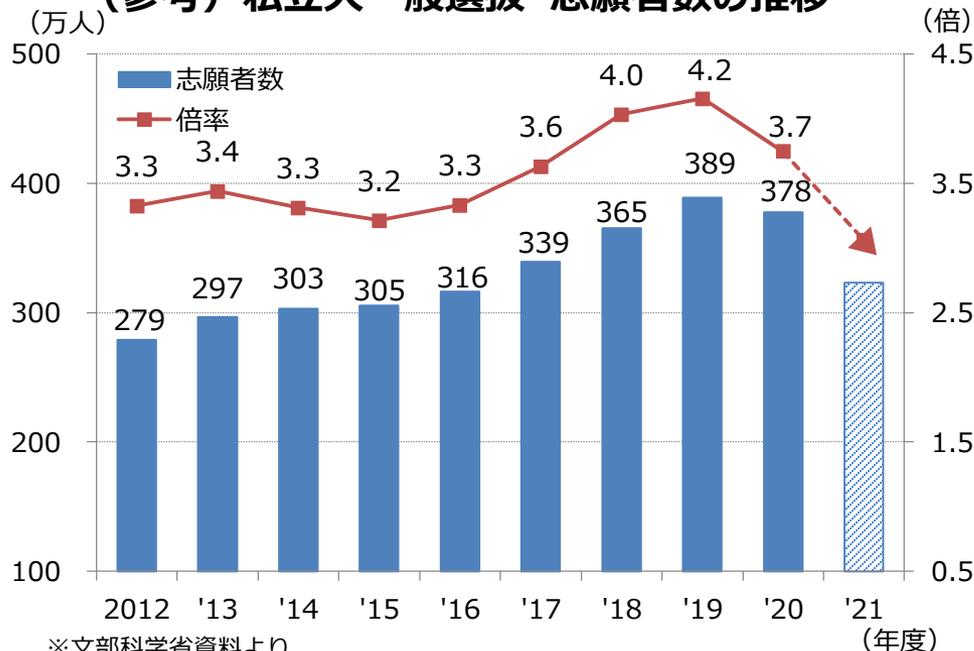
地区	志願者数		合格者数	
	前年差	前年比	前年差	前年比
北海道	-6,340	84%	-2,514	88%
東北	-2,913	92%	-55	100%
関東・甲信越*	-5,090	90%	+5	100%
首都圏	-292,665	86%	+37,158	107%
北陸	-5,312	83%	+404	103%
東海	-56,132	83%	+3,745	103%
近畿	-144,750	84%	+19,384	109%
中国	-6,249	89%	+178	101%
四国	-1,249	87%	+624	111%
九州	-21,105	86%	+2,456	105%

※河合塾調べ (5/21現在、554大学判明分)

※地区別は一般+共通テスト方式の数値

\* 関東・甲信越は首都圏を除く

### (参考) 私立大一般選抜 志願者数の推移



※文部科学省資料より

※グラフは私立大一般選抜最終志願者数・倍率の推移(21年度は推定)

- 私立大全体の志願者数は大幅に減少、2016年度入試並みの水準に戻る見込み。一方、合格者数は大きく増加し、倍率は3.1倍へとダウンした。二期入試は志願者・合格者ともに減。目に見えて入試が縮小した
- 方式別にみると、一般方式の減少率の高さが目を引くが、入試改革実施大の影響
- 地区別にみると、首都圏、近畿地区で志願者の減少数・合格者の増加数が多くなった

## 都市部 私立大グループの入試結果 – 合格者増により倍率ダウン

		志願者数				合格者数				倍率 (志/合)	
		2020	2021	前年差	前年比	2020	2021	前年差	前年比	'20	'21
<b>私立大全体</b>		<b>3,749,992</b>	<b>3,208,187</b>	<b>-541,805</b>	<b>86%</b>	<b>987,924</b>	<b>1,049,309</b>	<b>+61,385</b>	<b>106%</b>	<b>3.8</b>	<b>3.1</b>
首都圏	早慶上理	225,541	203,911	-21,630	90%	44,306	47,214	+2,908	107%	5.1	4.3
	MARCH	412,269	374,558	-37,711	91%	78,335	89,136	+10,801	114%	5.3	4.2
	成成明國武	101,998	86,684	-15,314	85%	21,673	24,882	+3,209	115%	4.7	3.5
	日東駒専	295,527	265,039	-30,488	90%	80,806	86,248	+5,442	107%	3.7	3.1
	その他	1,089,313	901,791	-187,522	83%	271,657	286,455	+14,798	105%	4.0	3.1
近畿	関関同立	274,449	241,120	-33,329	88%	70,895	79,006	+8,111	111%	3.9	3.1
	産近甲龍	273,850	248,128	-25,722	91%	61,040	71,429	+10,389	117%	4.5	3.5
	その他	359,050	273,351	-85,699	76%	95,787	96,671	+884	101%	3.7	2.8

### ●志願者減少大 (減少数順)

大学	2021	前年差	前年比
1 立命館	83,512	-20,157	81%
2 青山学院	40,123	-17,699	69%
3 日本	97,948	-15,954	86%
4 京都産業	40,925	-15,295	73%
5 早稲田	91,659	-12,917	88%
6 法政	90,956	-12,672	88%
7 神奈川	24,251	-12,221	66%
8 東洋	89,808	-11,968	88%
9 東海	44,321	-11,964	79%
10 近畿	135,979	-9,371	94%

### ●合格者増加大 (増加数順)

大学	2021	前年差	前年比
1 千葉工業	24,893	+6,687	137%
2 龍谷	17,835	+5,210	141%
3 関西学院	12,444	+4,112	149%
4 大阪産業	6,460	+3,334	207%
5 近畿	37,091	+3,056	109%
6 中央	19,829	+2,803	116%
7 関西	18,815	+2,626	116%
8 立教	14,659	+2,507	121%
9 明治	24,732	+2,428	111%
10 東海	15,564	+2,373	118%

- 都市部の私立大グループでは、私立大全体と比べ志願者数は小幅にとどまった。一方、合格者数は大きく増加、倍率は軒並みダウンした。
- 志願者数減少大、合格者数増加大の顔ぶれも、どちらも都市部の大規模大が並ぶ。

※河合塾調べ (5/21現在、554大学判明分)

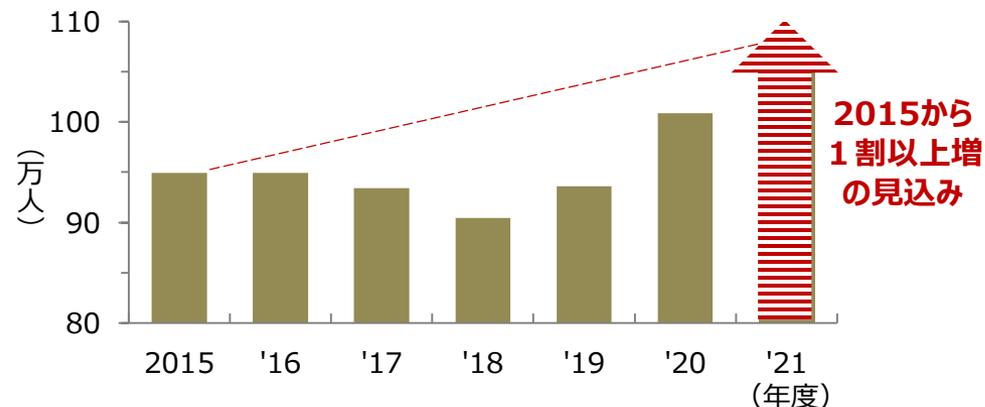
※早慶上理：早稲田、慶應義塾、上智、東京理科大学 MARCH：明治、青山学院、立教、中央、法政 日東駒専：日本、東洋、駒澤、専修 成成明國武：成蹊、成城、明治学院、國學院、武蔵 関関同立：関西、関西学院、同志社、立命館 産近甲龍：京都産業、近畿、甲南、龍谷

# 私立大の倍率は大きくダウン、競争緩和の時代へ

## ● 近年の私立大学と受験生の動き

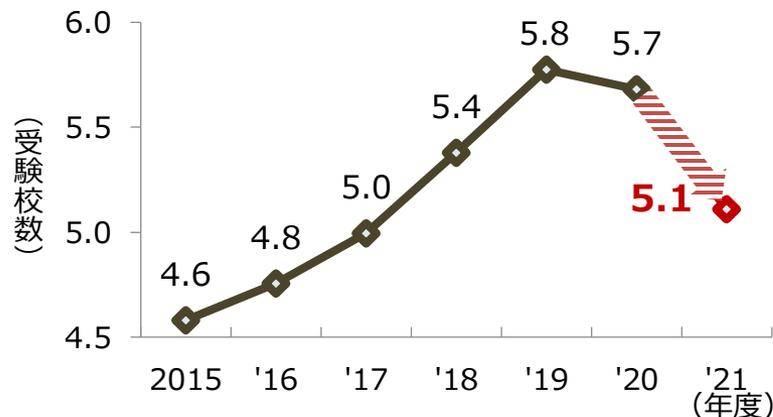


私立大一般選抜 延べ合格者数の推移



※文部科学省資料より (21年度は河合塾推定)

ひとりあたりの私立大受験校数の推移



※私立大延べ受験者数 (文部科学省資料) ÷ 大学志願者数 (学校基本調査) で算出 (21年度は河合塾推定)

## 2022年度入試の展望－「行きたい」大学をめざせるチャンス

### 入試への対応

### 大学進学への意識付けがより重要に



- **新入試で問われる力が明瞭に－まずは知識・技能の養成**  
基本的な知識や解法・公式の暗記に終わらせず、本質的な理解を深めさせることが重要  
さらに、共通テストでは様々な情報を迅速に整理、考察する力も求められる  
→実践的な対策は模試をうまく活用したい  
入試改革大は、丁寧な問題研究を



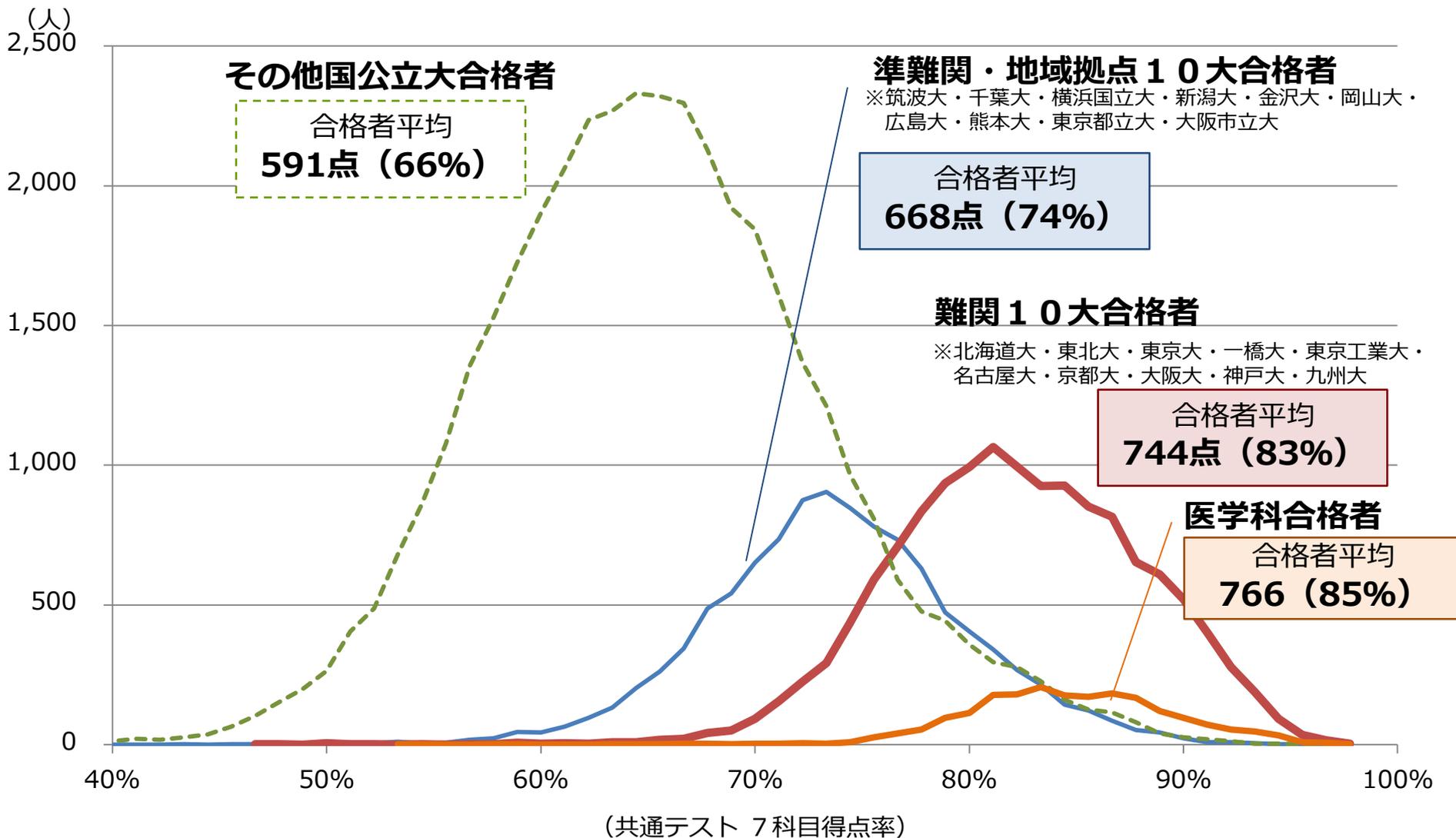
- **国公立大を中心にすすむ主体性評価**  
面接実施大は増加傾向、志願者本人の記載資料も活用広がる



- **目的意識を持った進路選択を**  
目先の状況にとらわれず、大学進学や卒業後の将来を見据えた目標設定を促したい  
前年低倍率大に志願者が集まる傾向続く、来春は反動に注意

「行けそう」な大学ではなく「行きたい」大学へ

# 国公立大合格者の学力層（大学グループ別）



# (参考) 都市部私立大 (文系学部) の合格率の変化

合格しやすくなった状況を検証した。各大学グループ (文系学部) の合格率を、合格者の全統模試における成績層で切り分けてみると、この3年間で合格率は軒並みアップしている。とくに2021年度入試では合格率50%となる (=ボーダーランク) 偏差値帯が下がっており、易化した様子が明らかになった

## 首都圏

偏差値帯	早慶上理			MARCH			日東駒専			首都圏 その他		
	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)
70以上	55%	58%	61% (+3%)	83%	82%	83% (+1%)	79%	89%	84% (-5%)	83%	87%	87% (+1%)
65~70未満	27%	30%	33% (+3%)	61%	65%	69% (+4%)	84%	89%	91% (+2%)	80%	88%	89% (+1%)
60~65未満	9%	12%	15% (+4%)	32%	36%	42% (+6%)	64%	73%	79% (+6%)	65%	74%	79% (+5%)
55~60未満	3%	3%	7% (+4%)	12%	14%	19% (+5%)	38%	49%	57% (+9%)	50%	57%	67% (+11%)
50~55未満	2%	1%	4% (+2%)	3%	4%	7% (+3%)	19%	27%	35% (+8%)	37%	43%	56% (+14%)
45~50未満	2%	3%	2% (-1%)	2%	2%	3% (+1%)	8%	11%	18% (+7%)	28%	31%	47% (+15%)
45未満	3%	2%	1% (-0%)	2%	1%	2% (+1%)	3%	5%	9% (+3%)	20%	20%	35% (+15%)

## 近畿地区

偏差値帯	関関同立			産近甲龍			摂神追桃			近畿地区 その他		
	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)
70以上	87%	89%	91% (+2%)	76%	80%	83% (+3%)	71%	-	71% -	58%	-	90% -
65~70未満	77%	78%	83% (+5%)	90%	94%	96% (+2%)	91%	85%	87% (+2%)	90%	91%	88% (-2%)
60~65未満	54%	55%	66% (+11%)	80%	84%	91% (+7%)	80%	90%	93% (+3%)	85%	88%	88% (+0%)
55~60未満	26%	28%	40% (+13%)	56%	64%	78% (+14%)	67%	85%	89% (+4%)	73%	77%	82% (+6%)
50~55未満	10%	12%	19% (+8%)	32%	40%	57% (+16%)	53%	73%	80% (+6%)	59%	66%	73% (+7%)
45~50未満	3%	4%	8% (+4%)	15%	20%	34% (+13%)	35%	53%	68% (+15%)	44%	50%	64% (+14%)
45未満	2%	2%	4% (+2%)	5%	8%	17% (+9%)	14%	29%	45% (+16%)	29%	32%	53% (+21%)

※河合塾入試結果調査データより ※網掛けは合格率50%以上の成績層、偏差値帯は全統模試における総合 (英・国、数または地公) の平均偏差値を使用

※文系: 「文・人文」「社会・国際」「法・政治」「経済・経営・商」の4系統

※早慶上理: 早稲田, 慶應義塾, 上智, 東京理科大学 MARCH: 明治, 青山学院, 立教, 中央, 法政 日東駒専: 日本, 東洋, 駒澤, 専修 首都圏その他: 左記3グループを除く大学

※関関同立: 関西, 関西学院, 同志社, 立命館 産近甲龍: 京都産業, 近畿, 甲南, 龍谷 摂神追桃: 摂南, 神戸学院, 追手門学院, 桃山学院 近畿地区その他: 左記3グループを除く大学

# (参考) 都市部私立大 (理系学部) の合格率の変化

合格しやすくなった状況を検証した。各大学グループ (理系学部) の合格率を、合格者の全統模試における成績層で切り分けてみると、昨年から合格率はアップした。とくに近畿地区の各グループでは、合格率50% (=ボーダーランク) の偏差値帯が下がっており、易化した様子がうかがえる

## 首都圏

偏差値帯	早慶上理			MARCH			日東駒専			首都圏 その他		
	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)
70以上	88%	85%	87% (+1%)	91%	90%	91% (+1%)	74%	88%	98% (+10%)	86%	89%	82% (-7%)
65~70未満	65%	60%	70% (+10%)	82%	79%	84% (+6%)	93%	92%	92% (+1%)	89%	91%	89% (-3%)
60~65未満	35%	31%	42% (+11%)	53%	52%	62% (+9%)	88%	89%	89% (-0%)	82%	82%	83% (+1%)
55~60未満	13%	11%	18% (+7%)	25%	23%	32% (+9%)	80%	78%	81% (+3%)	67%	66%	70% (+4%)
50~55未満	5%	4%	7% (+3%)	7%	6%	10% (+3%)	61%	62%	67% (+6%)	50%	51%	56% (+5%)
45~50未満	5%	4%	5% (+1%)	3%	2%	2% (+1%)	38%	40%	48% (+7%)	38%	37%	45% (+7%)
45未満	3%	0%	5% (+5%)	2%	1%	2% (+1%)	21%	21%	27% (+5%)	27%	24%	33% (+9%)

## 近畿地区

偏差値帯	関関同立			産近甲龍			摂神追桃			近畿地区 その他		
	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)	2019	2020	2021 (前年差)
70以上	88%	91%	89% (-1%)	88%	82%	80% (-3%)	100%	66%	-	95%	97%	94% (-2%)
65~70未満	88%	88%	90% (+2%)	96%	92%	95% (+3%)	85%	88%	100% (+12%)	90%	92%	95% (+2%)
60~65未満	73%	71%	77% (+6%)	87%	87%	90% (+3%)	88%	88%	78% (-10%)	85%	87%	89% (+2%)
55~60未満	46%	39%	52% (+12%)	74%	76%	84% (+9%)	79%	85%	91% (+6%)	73%	77%	80% (+4%)
50~55未満	16%	15%	22% (+7%)	54%	58%	71% (+13%)	58%	72%	84% (+12%)	60%	65%	74% (+9%)
45~50未満	5%	4%	6% (+3%)	31%	34%	54% (+20%)	28%	47%	66% (+19%)	41%	45%	59% (+13%)
45未満	2%	2%	3% (+1%)	11%	17%	34% (+18%)	8%	22%	41% (+19%)	22%	27%	42% (+14%)

※河合塾入試結果調査データより ※網掛けは合格率50%以上の成績層、偏差値帯は全統模試における総合 (英・数・理) の平均偏差値を使用

※理系: 「理」「工」「農」「医療 (医学科を除く)」の4系統

※早慶上理: 早稲田, 慶應義塾, 上智, 東京理科 MARCH: 明治, 青山学院, 立教, 中央, 法政 日東駒専: 日本, 東洋, 駒澤, 専修 首都圏その他: 左記3グループを除く大学

※関関同立: 関西, 関西学院, 同志社, 立命館 産近甲龍: 京都産業, 近畿, 甲南, 龍谷 摂神追桃: 摂南, 神戸学院, 追手門学院, 桃山学院 近畿地区その他: 左記3グループを除く大学

# 大学入試制度概要

## 大学入試の種類

総合型選抜  
(AO入試)

9月～

- 受験生の適性、志望動機を重視。面接を中心に時間をかけて選抜を行う。

学校推薦型  
選抜  
(推薦入試)

11月～

- 名前の通り、原則学校長の推薦を受けることで受験できる入試。

一般選抜  
(一般入試)

1～3月

- 主に学力試験で選抜を行う入試。

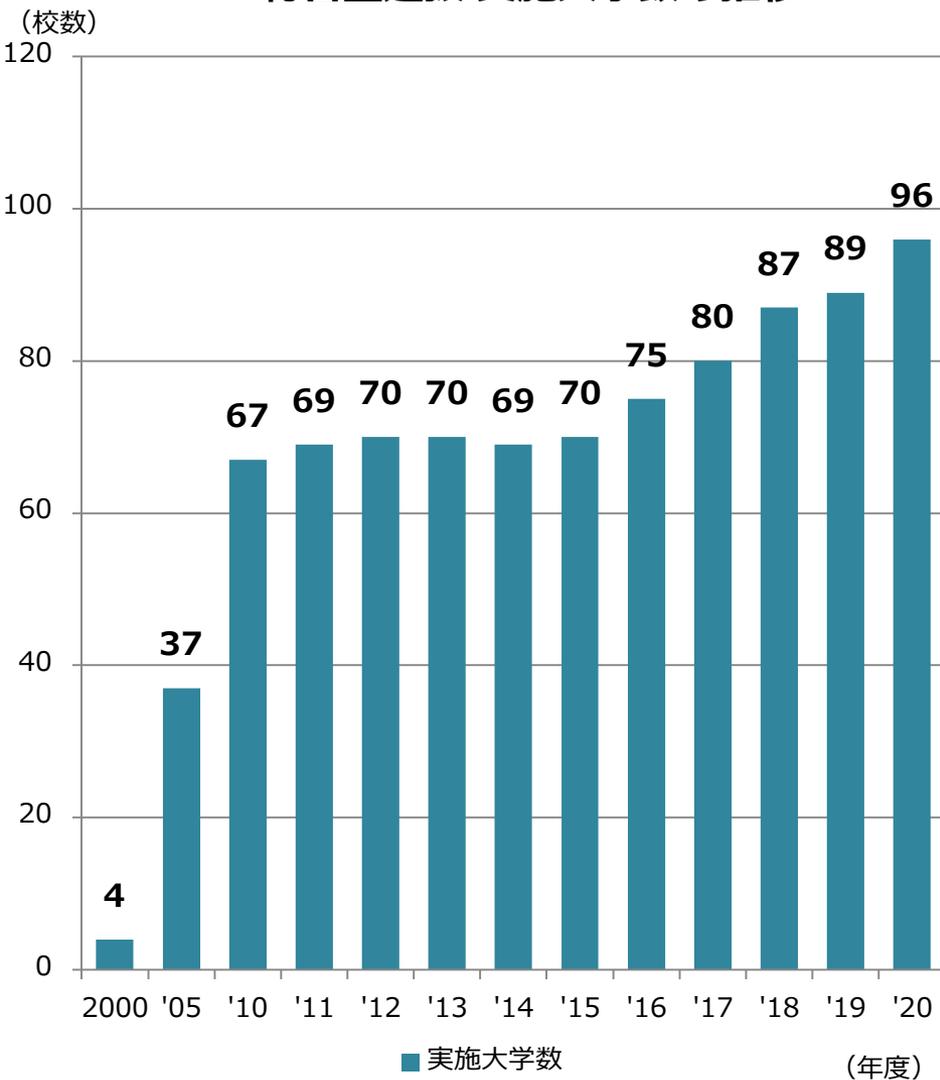
## 総合型選抜とは？

- 一般選抜・学校推薦型選抜に次ぐ**第3の入試**
- 出願期間は**9月**からスタート
- 書類や面接等で能力・適性・意欲等を**総合的に判定**
- **高い学習意欲・明確な目的意識**が必須  
面接を中心に**時間をかけて**適性・能力が判定される
- **2021年度入試からは学力を確認する評価が必須に**  
たとえば…小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、学科試験、資格・検定試験の成績、共通テストなど
- 国公立大、難関私立大では  
高倍率入試も目立つ

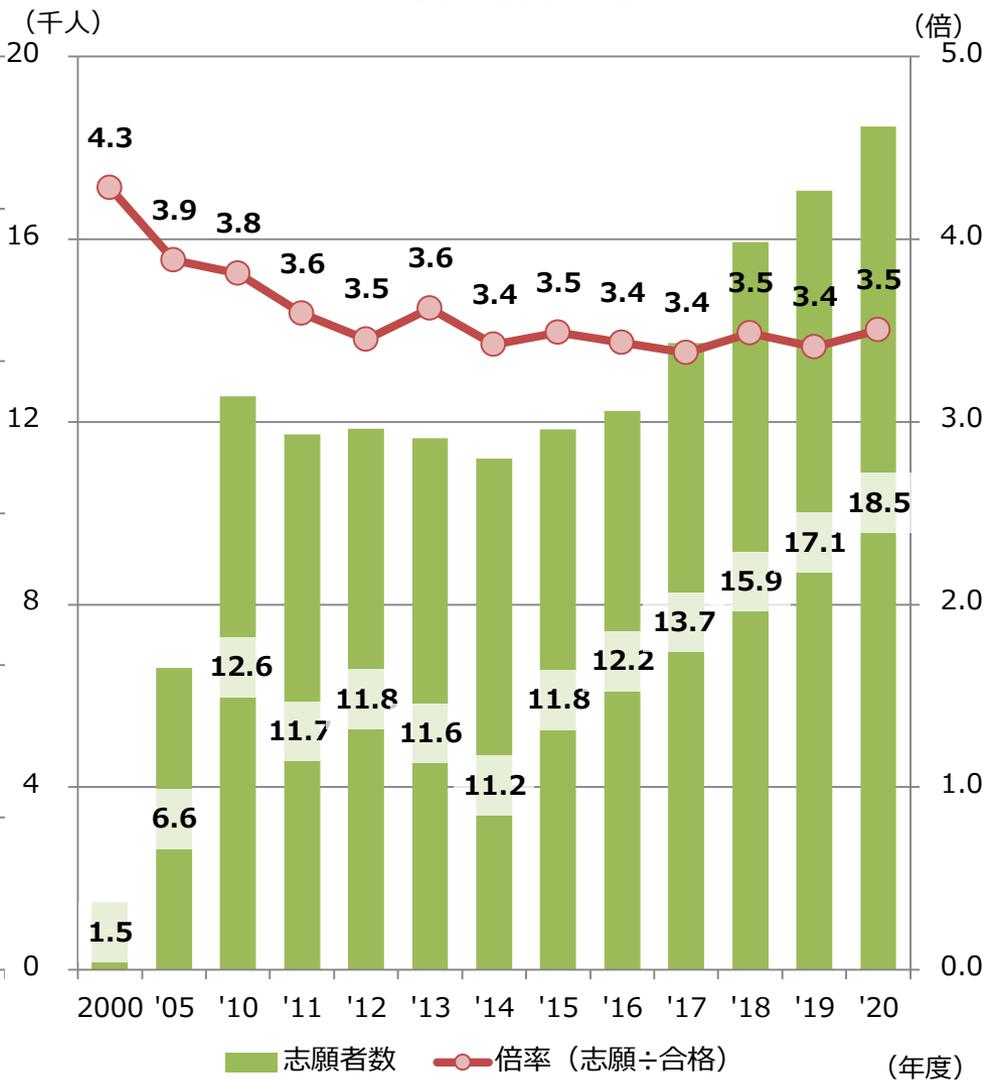


# 総合型選抜の実施状況（国公立大）

## 総合型選抜 実施大学数の推移



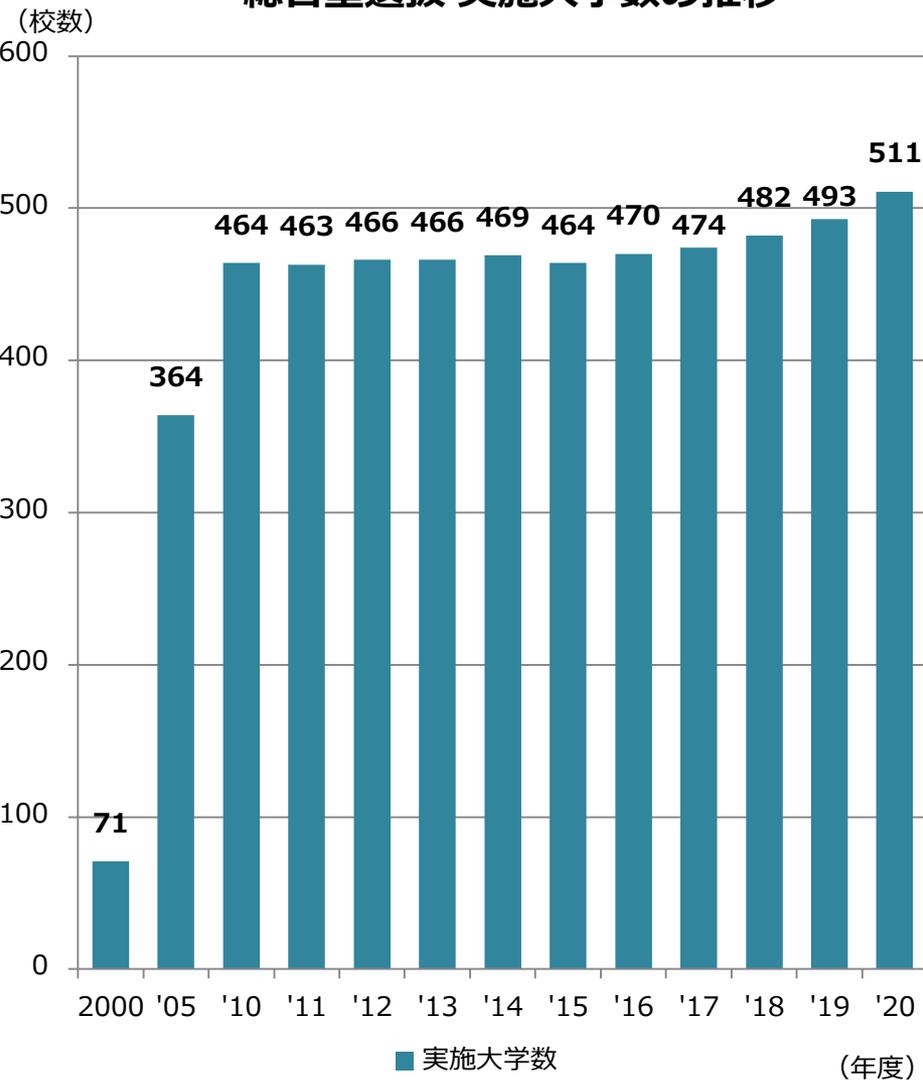
## 志願者・倍率の推移



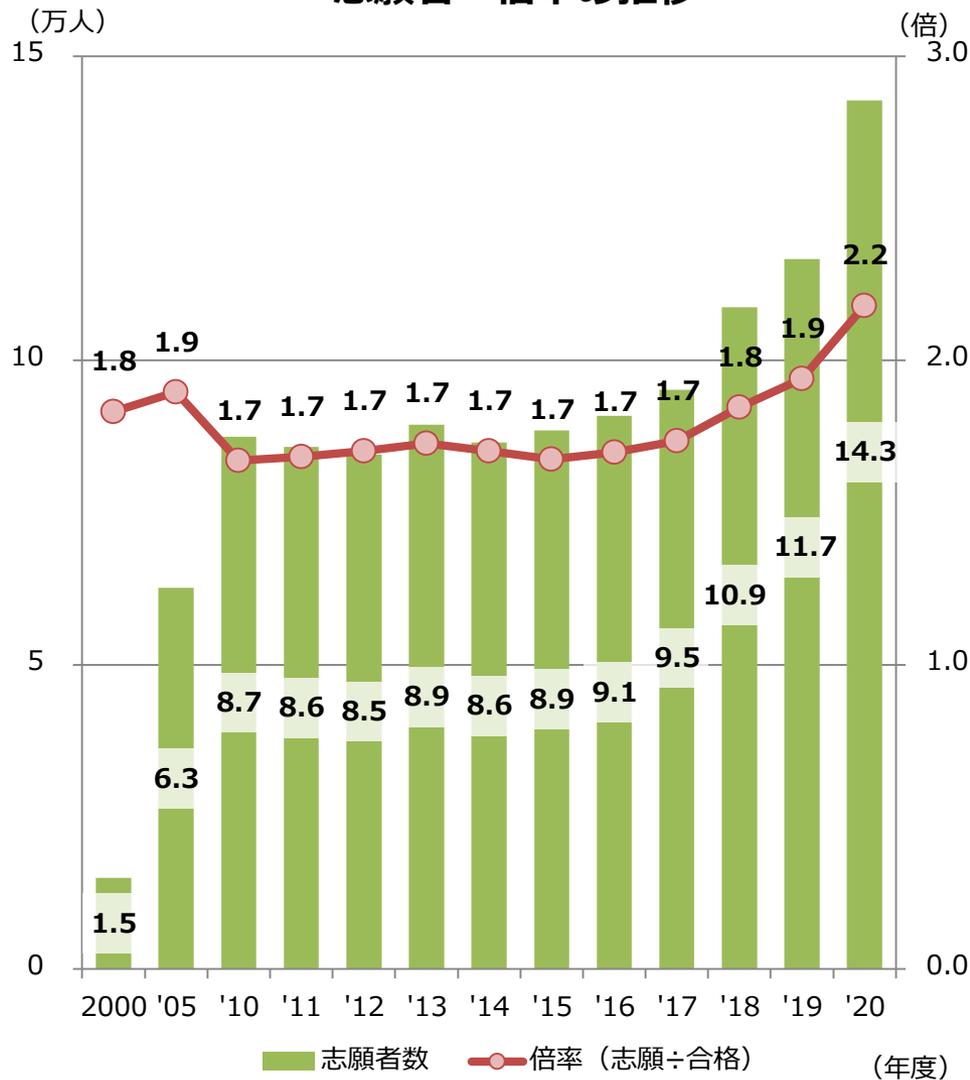
※文部科学省資料より

# 総合型選抜の実施状況（私立大）

## 総合型選抜 実施大学数の推移



## 志願者・倍率の推移



※文部科学省資料より

## 学校推薦型選抜とは？

**ポイント① 学校長の推薦が原則必要**  
**出願条件に学業成績基準・現浪制限などあり**

### 公募制

- 出願条件をクリアすればどの高校からも出願可能
- 私立大では併願を認める大学も多い

### 指定校

- 大学が指定する高校の生徒が対象
- 専願での出願が基本…合格率は高い

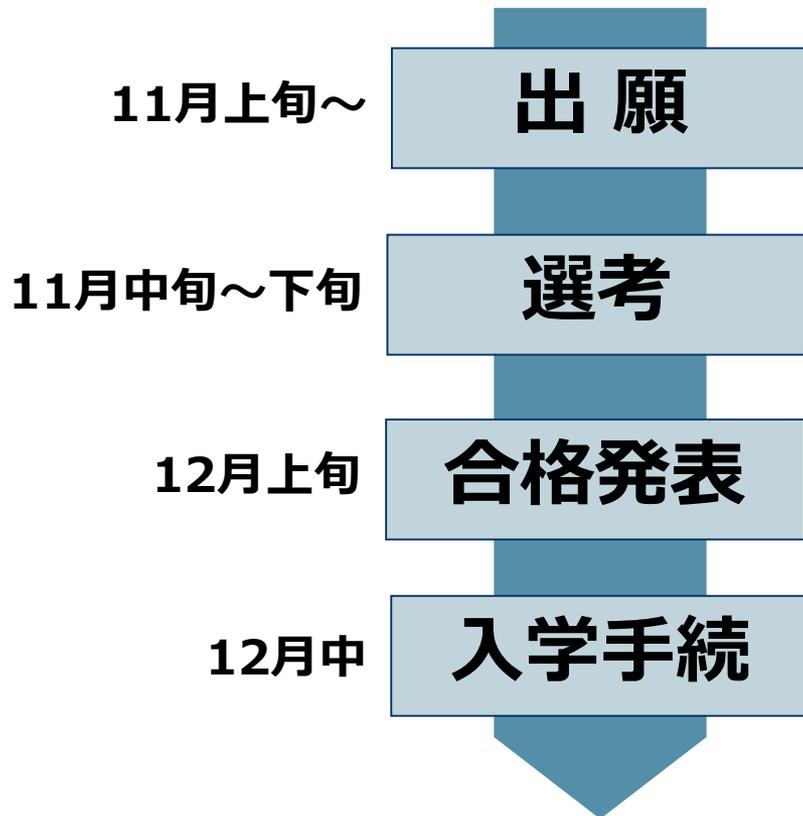
### その他

- 有資格者推薦・スポーツ推薦・課外活動推薦など

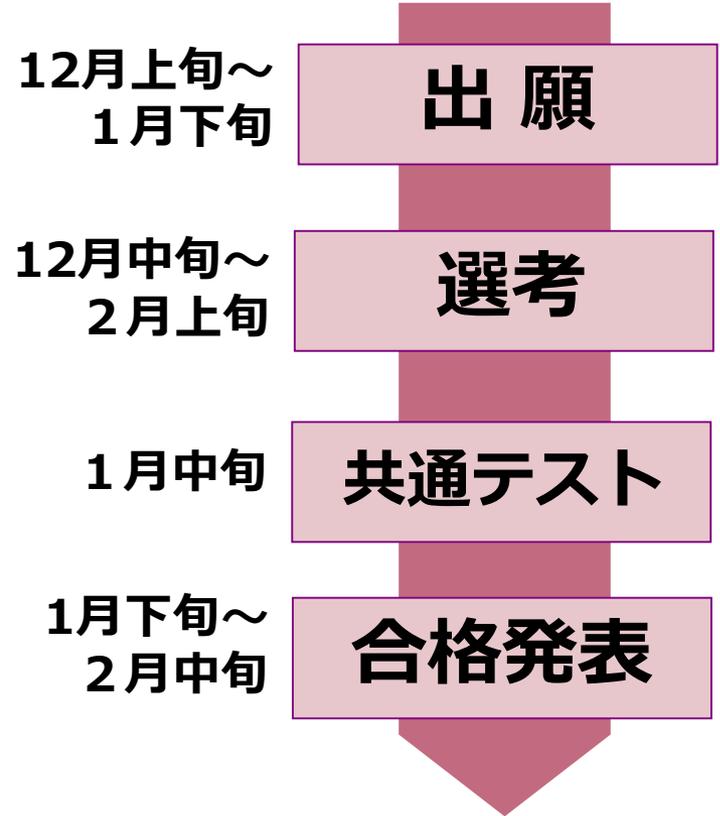
## 学校推薦型選抜とは？

**ポイント② 一般選抜よりも早いスケジュール  
国公立大は共通テストを利用する場合あり**

＜一般的な入試スケジュール＞



＜国公立大の共通テストを課すタイプ＞

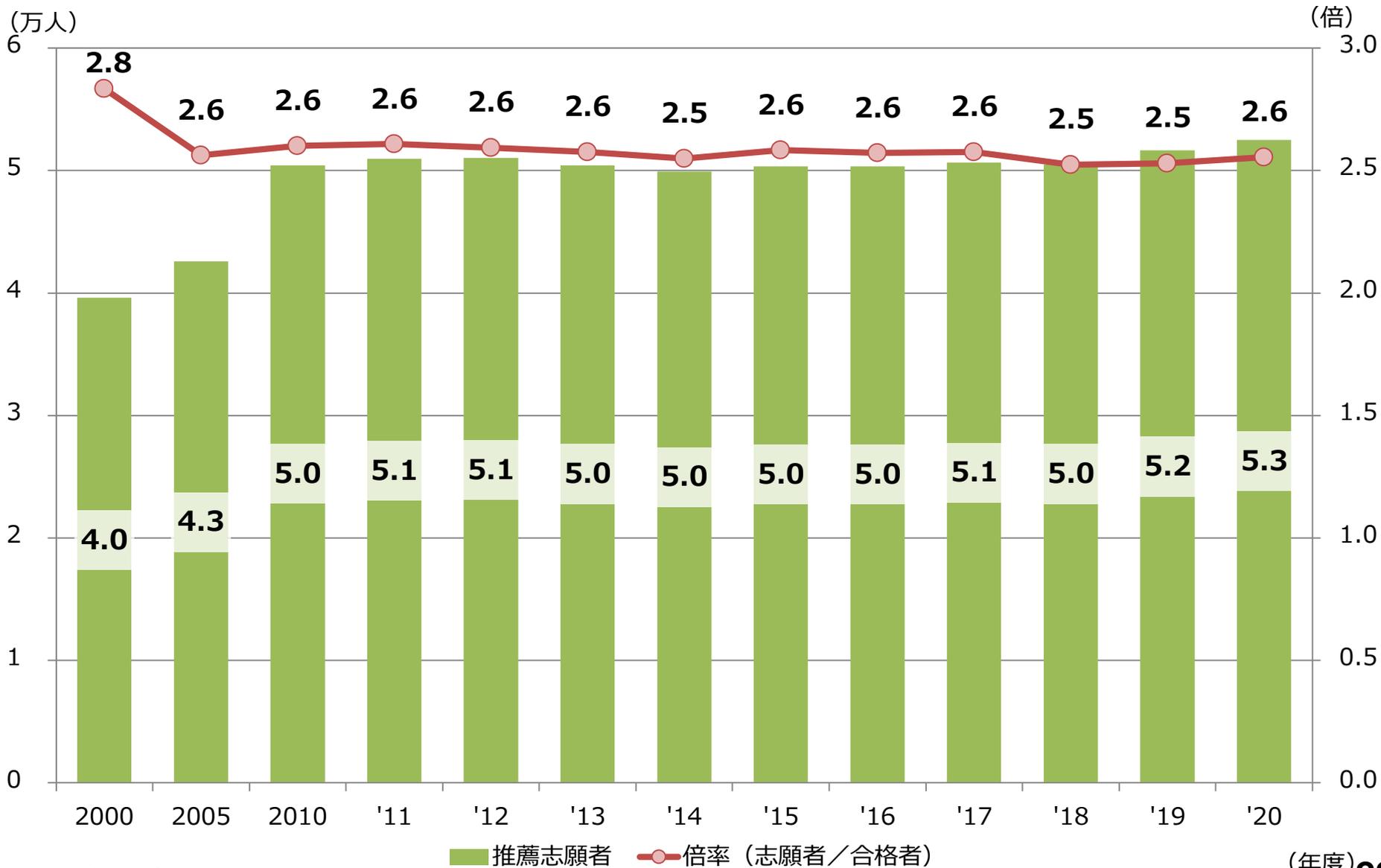


# 学校推薦型選抜とは？

## ポイント③ 選考は書類審査・小論文・面接など

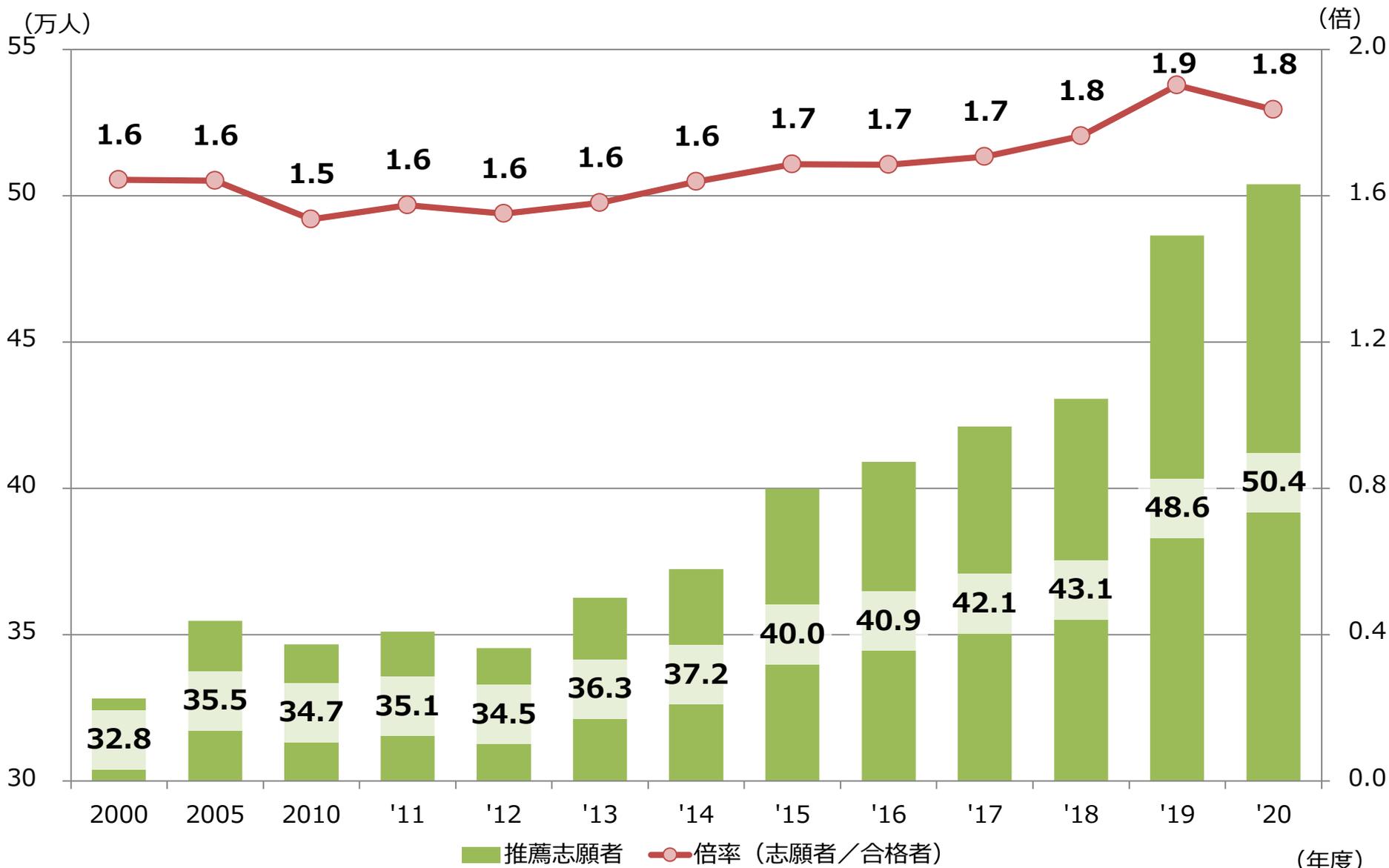
- **2021年度入試からは学力を確認する評価が必須に**  
 たとえば…小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、学科試験、資格・検定試験の成績、共通テストなど
- **書類審査**
  - ◆ 基本は「調査書」＋「学校長の推薦書」、志望理由書が必要な大学も
- **小論文**
  - ◆ 合格の鍵を握る小論文対策
  - ◆ 志望校の傾向を把握して、早期からの練習が必要
  - ◆ 英文読解などが含まれる場合あり
- **面接**
  - ◆ 志望理由、大学でやりたいこと、将来の希望、高校生活など
  - ◆ グループディスカッションや口頭試問を課すケースあり
  - ◆ 口頭試問が含まれる場合あり

## 学校推薦型選抜の志願者数と倍率（国公立大）



※文部科学省資料より

## 学校推薦型選抜の志願者数と倍率（私立大）



※文部科学省資料より

## 学校推薦型選抜・総合型選抜 準備の心構え

- 合格したら**入学する意思**をもつこと
  - 学校推薦型選抜・総合型選抜はあくまでも**第1志望校**の受験機会の拡大として活用
- **早期の受験準備**・出願校の決定が必要
  - 一般選抜とは異なる受験準備が必要
  - 一般選抜の勉強を並行して継続すること
- 受験準備に**多大な労力**がかかる場合あり
  - 国公立大・難関私立大では入念な受験準備が必要
  - 受かり易いイメージから対策が甘くなりがち

## 参考：学校推薦型・総合型選抜の状況

### ●国公立大

	志願者数			合格者数			倍率（志/合）	
	2021	前年差	前年比	2021	前年差	前年比	'20	'21
国公立大計	65,737	-1,010	98%	25,861	+1,504	106%	2.7	2.5
国立大計	43,182	-1,668	96%	16,648	+834	105%	2.8	2.6
公立大計	22,555	+658	103%	9,213	+670	108%	2.6	2.4

※河合塾調べ（5/21現在、161大学判明分）

### ●私立大

	志願者数			合格者数			倍率（志/合）		
	2021	前年差	前年比	2021	前年差	前年比	'20	'21	
私立大計	426,030	-31,556	93%	221,145	+12,015	106%	2.2	1.9	
地区別	北海道	6,784	+752	112%	5,934	+670	113%	1.1	1.1
	東北	9,045	-69	99%	7,434	+101	101%	1.2	1.2
	北関東・甲信越	12,371	-244	98%	9,450	-25	100%	1.3	1.3
	首都圏	112,211	-9,980	92%	70,236	+1,788	103%	1.8	1.6
	北陸	3,551	-80	98%	2,761	+92	103%	1.4	1.3
	東海	35,835	-732	98%	21,950	+1,369	107%	1.8	1.6
	近畿	213,045	-19,434	92%	79,803	+7,217	110%	3.2	2.7
	中・四国	17,309	-1,053	94%	12,341	+320	103%	1.5	1.4
九州	15,879	-716	96%	11,236	+483	104%	1.5	1.4	

※河合塾調べ（5/21現在、516大学判明分）

#### 国公立・私立大ともに志願者数減、合格者数増で倍率ダウン

学校推薦型選抜では志願者の減少が目立った。コロナ禍による学校休業や大会の中止で出願を躊躇したケースが多かったとみる。一方、合格者数は国公立大・私立大ともに増加。国公立大では総合型選抜を中心に募集人員が増加、合格者の増加はそれに沿っている。私立大では募集人員の増加以上に合格者数が増加。とくに三大都市圏で大きく増加した。

# 家庭学習のポイント

1. **勉強量不足**
2. **勉強の開始が遅れた**
3. **計画性がない 集中力がない**
4. **基礎力不足**
5. **苦手科目を克服できなかった**
6. **自分の学力レベルを把握せず大学を受験した**
7. **大学へ行こうという強い意志/目的がなかった**
8. **一浪は当然と思いき気が抜けていた**
9. **本番で体調を崩した**
10. **受験をなめていた**

## 高3生のロードマップから逆算してみましよう

		高3生														
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
学校行事	3学期制		1学期					2学期						3学期		
	2学期制		前期					後期				学年末テスト				
	1学期制		前期				後期			学年末テスト			卒業式			
	春休み															
	夏休み															
	秋休み															
	冬休み															
	卒業式															

**高3 1学期**  
 英語・数学  
 または国語の強化  
 理科・地歴の学習開始

**高3 2学期**  
 入試レベルの実践演習開始  
 理科または地歴が完成  
 記述・論述力養成  
 合格答案作成力養成  
 大学別の入試対策

**高3 入試本番**  
 国公立大入試（論述）対策が  
 できている  
 共通テスト対策ができている  
 私立大入試対策ができている

**高2 3学期～春休み**  
 高2までの学習内容  
 総まとめ  
 苦手分野克服(英語,  
 数学,国語)

**高3 夏休み**  
 苦手科目の克服完了  
 受験基礎学力の完成

**高3 冬休み**  
 各受験科目の総まとめ  
 大学別の入試対策  
 徹底した共通テスト試験  
 対策  
 合格答案作成力養成

**高2のうちに、これまでの学習内容の総まとめをしておきましょう！**

## 学習計画の立て方

### ◆やるべきことに優先順位をつけ、締め切りを決める

→苦手科目が最優先

→計画倒れにならないように、理想だけでなく可能な日時にする

→同一日に複数の締め切りを設定しない

### ◆週ごとに計画を立てる

→同じ科目で固まりすぎないように注意する

→すべての科目でそれぞれその週でやることを書き出す

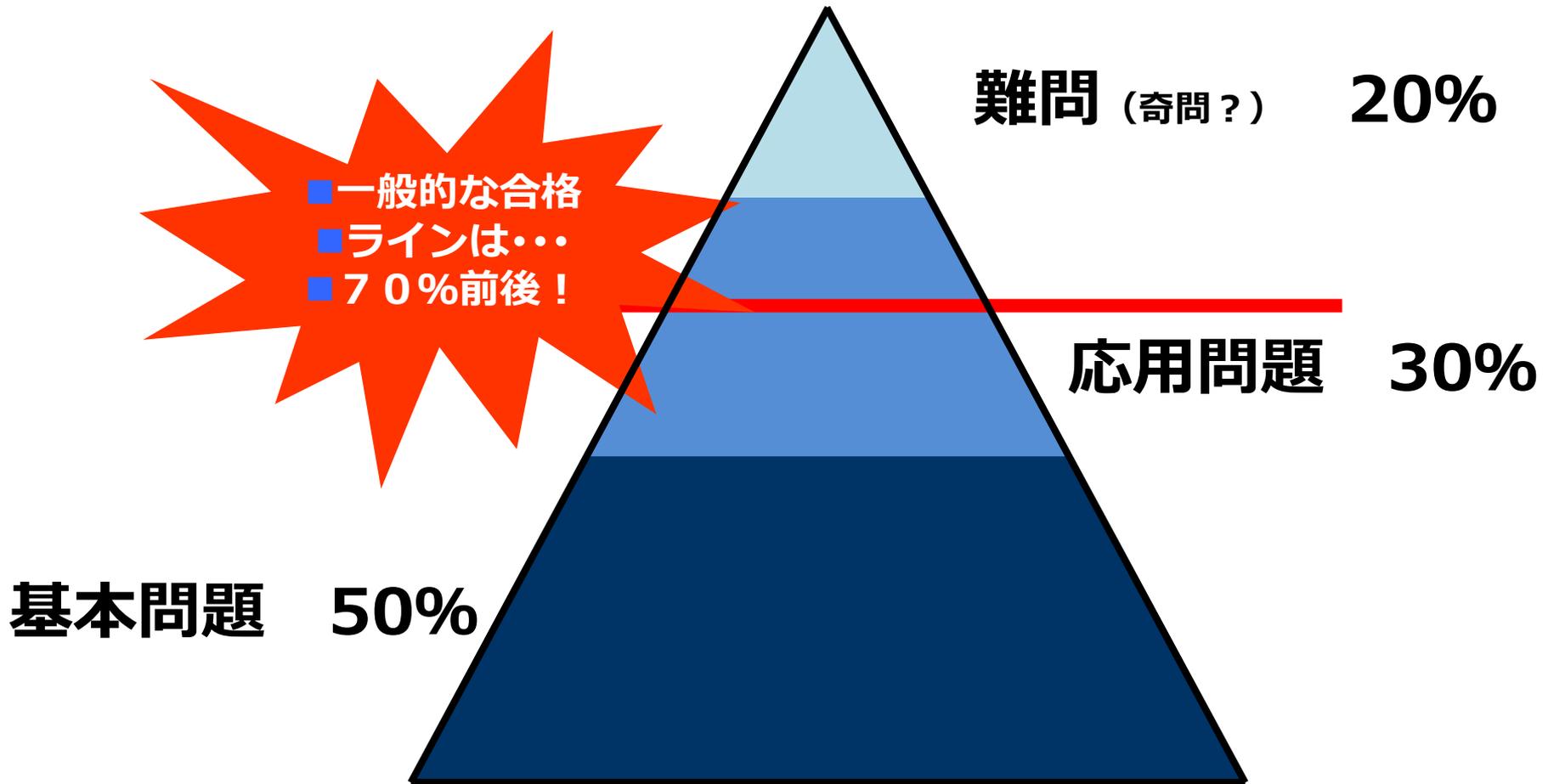
### ◆1日ごとに計画を立てる

→時間で区切って細かい計画を立てる

→具体的に書く(科目、分野、使用教材、ページ数を詳細に)

# なぜ、基礎学力の習得が必要か？

## 大学入試の出題構成



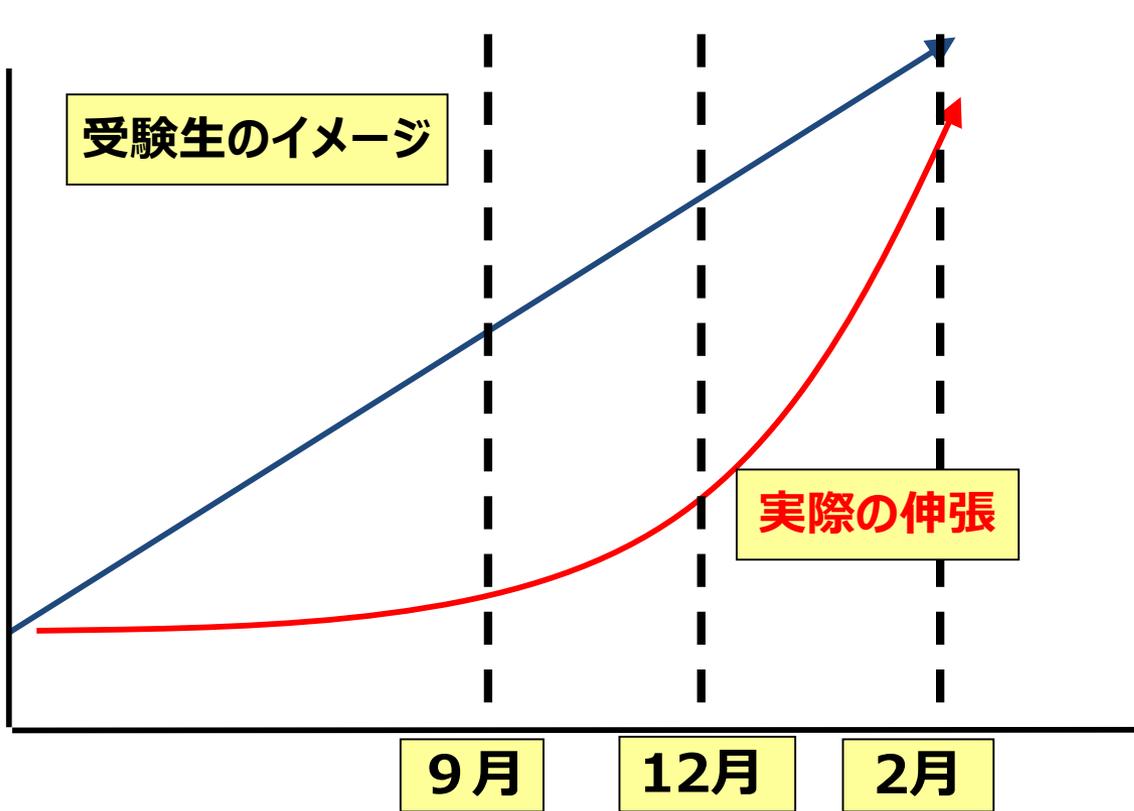
## 授業以外の勉強時間

### ● 平均学習時間は？

		全体	上位	下位
1 学期	平日	4.6	4.9	4.2
	休日	7.6	8.2	6.5
夏休み	平日	7.8	8.1	7.2
	休日	8.8	9.3	8.0
2 学期	平日	5.4	5.5	5.4
	休日	8.8	9.2	8.0
冬休み	平日	8.1	8.3	7.6
	休日	9.4	9.7	8.7

君のポテンシャルを甘くみないでください！

# 君のポテンシャルを甘くみないでください！



## ■ ■ 受験の3禁 ■ ■

- ① 安易に志望を下げる
- ② 安易に科目を減らす
- ③ 安易に推薦に走る

現役生は最後まで諦めないことが重要。  
模試の判定だけで志望校を下げたり、推薦に頼ると  
最後の伸びを摘んでしまうことになります。

すべての模試は  
“途中経過”です。  
D・E判定で諦めない！



# 参考：合格者の成績推移の特徴

	第1回全統記述 模試志望判定	第2回全統記述 模試志望判定	第3回全統記述 模試志望判定
新潟大学合格！	E	B	E
新潟大学合格！	E	D	B
新潟大学合格！	E	—	E
東北大合格！	E	E	D
東北大合格！	E	A	B
国立大医学部合格！	E	E	E

模試の判定はもちろん良いほうが良いが、判定に惑わされずに勝負している生徒が多い。

# 保護者としての心構え

## 受験期の保護者の心得①



### 【つい言ってしまってた後悔したこと】

#### ●余計なひとこと

- ・ちょっとした行動で『それでは受からない！』とつい言ってしまった。
- ・その後、子どもともめてしまいかえって勉強時間が減ってしまった。
- ・『勉強しなくて大丈夫？』『お金かかるね』という言葉をよく言ってしまったが、
- ・あまり言うべきではなかったと思う。

#### ●否定的な言葉

- ・模試の結果がとても悪かったとき、本人が一番不安になっているのに、それ以上に
- ・動揺してしまい『これで受かるの？』や『勉強が足りないのでは？』  
と言ってしまったこと。
- ・『この点数では、勉強しているとはいえない』と言ってしまったこと。

## 受験期の保護者の心得②

【言ってもらって嬉しかった、してもらって嬉しかったこと】



- プレッシャーをかけずに見守ってくれた。
- 模試でいい成績が取れたとき、褒めてくれて嬉しかった。
- 模試の結果が悪かったとき、「次があるから」と言ってくれた。
- 朝早く起きて、毎日お弁当を作ってくれた。
- 「あなたの人生なんだから自分の思ったとおりにしなさい。  
できる限りのサポートをするから」と言われた。
- 志望大学の選択や模試の結果について口を挟まず、信じてくれた。
- 「今している努力は必ず実るから」と言われた。

**【最後に】**

- ◆子供のベストサポーターでいてください。
- ◆決して保護者の方が頑張り過ぎないでください。
- ◆子供が辛いとき、後を振り返ったら必ず保護者が笑顔で見守ってくれている。
- ◆それが一番大切です。